

脱炭素化の取り組みについて



2025年8月21日

株式会社ウオロクホールディングス

総務部 飯ヶ浜耕治



ウオロクグループ SDGs宣言

〈基本理念〉

ウオロクグループは、国連が提唱する持続可能な開発目標「SDGs」に賛同し、事業活動を通じて経済的発展と社会的課題の解決の両立を図り、持続可能な社会の実現に貢献します。

- ① お客様の豊かな食卓と健康を支えます。
- ② 人と環境と社会にやさしい店づくりを進めます。
- ③ ウオロクにかかわるすべての人たちの成長と幸福を追求します。
- ④ 地域のみなさまとともに歩みます。

〈重点項目〉



2021年4月1日
株式会社ウオロクホールディングス
代表取締役社長 **本多伸一**

「SDGs (エスディーゼズ)」とは

「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称であり、2015年9月に国連で開催されたサミットの中で世界のリーダーによって決められた、国際社会の共通目標です。「17の目標」と「169のターゲット(具体目標)」で構成されています。



1. お客様の豊かな食卓と健康を支えます

3 すべての人に健康と福祉を



3, すべての人に健康と福祉を

2, 人と環境と社会にやさしい店づくりを進めます。

11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任 つかう責任



13 気候変動に具体的な対策を



1 1, 住み続けられるまちづくりを
1 2, つくる責任 つかう責任
1 3, 気候変動に具体的な対策を

3, ウオロクにかかわるすべての人たちの成長と幸福を追求します。

5 ジェンダー平等を
実現しよう



8 働きがいも
経済成長も



5, ジェンダー平等を
実現しよう
8, 働きがいも経済成長も

4, 地域のみなさまとともに歩みます。

17 パートナリシップで
目標を達成しよう



1 7, パートナリシップで目標を
達成しよう

環境経営方針 (2021年版)



＜基本理念＞

私たちは、地域社会の一員として環境保全活動に取り組むとともに、環境経営を継続的に発展させ、持続可能な社会の実現に貢献します。

＜基本方針＞

1. 環境や社会に配慮した商品を積極的に販売します。
2. 食品廃棄物の削減とリサイクルに取り組みます。
3. 二酸化炭素排出量の削減を推進します。
4. 資源の節約と有効活用に努めます。
5. 環境関連の法律、規制、条例等を遵守します。
6. 環境教育を継続的に実施します。



1, 「脱炭素化」取り組みの流れ

2011.3	東日本大震災
2011.7	デマンド監視装置（「見えタロー®」）全店導入
2012.4	「環境経営方針」策定
2012.7	エコアクション21（EA21）の認証取得（継続中）
2015～ 2021	天井および冷凍冷蔵ショーケースの照明を順次LED化
2021.4	ウオロクグループ「SDGs宣言」策定 「環境経営方針」改定
2021.4～	牡丹山店（新潟市東区）に太陽光パネル導入、順次拡大 →現在19事業所に導入
2024.11	小針南店（新潟市西区）開店（『ZEB』認証取得）
2025.7	緑店開店（新発田市、建て替え）（『ZEB』認証取得）

上記のほか、
エネルギーマネジメントシステム（EMS）、空調自動制御システムなど、
複数の店舗に導入しています。

2, 二酸化炭素排出量の推移

延床面積（＝売場面積×営業日数）は増えていますが、二酸化炭素排出量の総量は減少しています。



2011～2013
→震災後の節電運動



2015～2021
→LED照明への切替



2020～2024
→太陽光発電の導入

※排出量は温対法の届出値

	2013	2020	2024	2030目標
CO2排出量(t-co2)	29,453	30,102	21,933	
延床面積あたり排出量(t-co2/m ²)	0.01895	0.01710	0.01125	0.01023

当グループは「2030年には延床面積あたりのCO2排出量の2013年比46%減」を目標としています。

3, 『ZEB』 認証取得

緑店・小針南店は『ZEB』の認証を取得しました。 ※冷凍冷蔵設備や事務用は対象外

● ZEBとは

「先進的な建築設計によるエネルギー負荷の抑制やパッシブ技術の採用による自然エネルギーの積極的な活用、高効率な設備システムの導入等により、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギー化を実現した上で、再生可能エネルギーを導入することにより、エネルギー自立度を極力高め、年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロとすることを目指した建築物」（経産省による定義）

緑店はNet-Zero Energy Building 通称『ZEB』です。

※『ZEB』とは...
省エネによってエネルギーを減らし、創エネによってエネルギーを作ることで、お店で使うエネルギーの収支ゼロを目指した建物のことです。

緑店は快適な室内環境を実現しながらエネルギーの収支、**実質ゼロ**を目指しています。

創エネ + 省エネ = 実質ゼロ

太陽光発電 + 断熱ガラス + 高効率型空調機 etc

BELS ベルス 認定、最高ランクを取得

※冷凍冷蔵機器は除く

太陽光+蓄電池で 昼も夜も災害時も安心

お店の屋根で発電してお店につかう。余った電気は蓄電池に貯めて夜間や災害時につかう。

※新発田市と防災協定を締結しています。

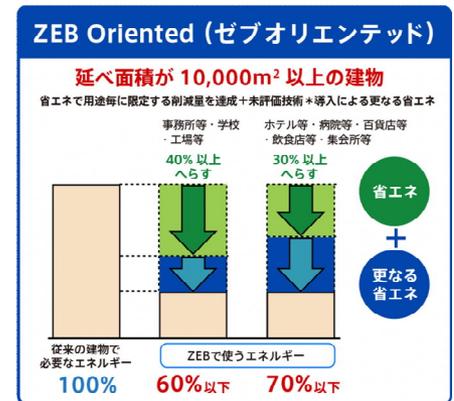
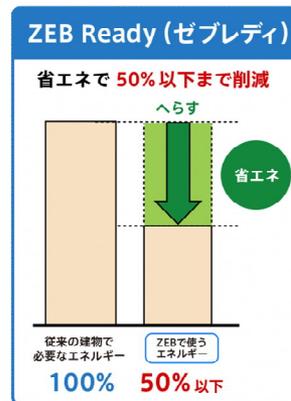
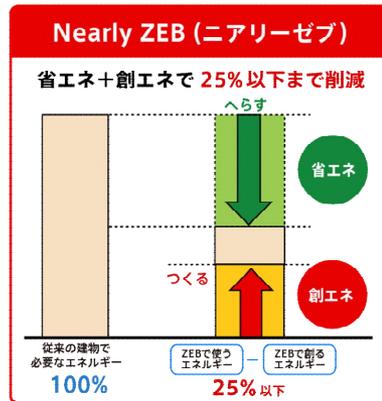
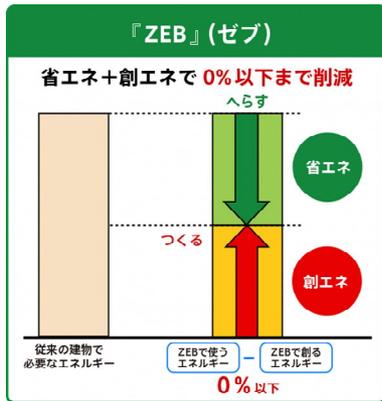
i GRID SOLUTIONS

買い物に最適な売場照明 自動調光

時間ごとに最適な光を演出し空間の**快適性と省エネ**を両立したLED照明

午前 午後

ENDO LIGHTING CORP.



*WEBPRO において現時点で評価されていない技術

4, 太陽光発電について

1, 導入状況

- 20年から導入を開始、現在19事業所に導入（新発田市内は3店舗）
オンサイトPPA方式…16店舗
自己投資…緑店、小針南店、生鮮デリカセンター
- 25年度中に5店舗追加予定
- ZEBについて
建築費の高騰などから拡大は厳しい



2, 結果その他

- 導入により、系統電力の使用量 = CO₂排出量は確実に下がる。「脱炭素」を目指すのであれば必須。
- 導入店舗では、年平均で電力使用量の約25%を太陽光で賄うことができている。ただし、冬季は3~5%に低下するほか、天候不順により発電量が低下するリスクもある。
- PPAの方が気軽に導入できるが、リターンは自己投資の方が大きい。投資に当たっては、補助金の活用などによりできるだけ自己負担を低くすることが大事。

ウオロクは、新発田発祥の企業として、新発田市の「ゼロカーボンシティ宣言」に全面的に賛同しています。

エネルギーだけではなく「ハピタベ」などの食品ロスの削減や、廃棄物の削減、店頭でのリサイクル活動など、脱炭素につながる様々な取り組みを行っています。

引き続き、環境や地域社会に貢献する企業を目指してまいります。